

令和4年度 第3回新潟市区自治協議会会長会議		
日時	令和4年3月13日(月)午後3時30分～午後5時00分	
会場	新潟市役所本館 3階 対策室1	
出席者	会長	神田 征男 北区会長、 佐藤 雅之 中央区会長、 金子 洋二 秋葉区会長、 大谷 一男 西区会長、 後藤 岩奈 東区会長、 小林 勲 江南区会長、 高橋 直廣 南区会長、 長井 正雄 西蒲区会長
	事務局等	市長、市民生活部長、市民協働課長ほか
傍聴者	0名	
主な議題	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 区自治協議会(第8期)を振り返って 資料1「区自治協議会(第8期)を振り返って(暫定版)」に基づき、各区自治協議会会長が第8期の主な成果や課題等に関する報告を行った後、市長が感想・意見等を述べました。</p> <p>ア 北区自治協議会 活動報告概要</p> <p>(ア) withコロナ時代にあわせた会議運営 書面開催やオンラインでの参加など“withコロナ時代”にあわせた手法で柔軟に対応していくとともに、対面で深まる委員同士のコミュニケーションも大切にし、引き続き、持続可能な運営を行っていくこととされた。</p> <p>(イ) 区自治協議会提案事業実施方法の見直し これまで1年単位で事業を実施してきたが、委員の任期に合わせ、1年目は区の現状や課題を把握するため調査・研究を行い、2年目に課題解決に向けた取組を行うことで、より効果的に事業を展開できるよう、実施方法の見直しを行った。</p> <p>(ウ) 部会の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務部会：全体会の内容を事前に確認し、より活発な区自治協議会に向け検討を行った。 ・地域づくり部会：防災知識などの啓発を目的に、地域団体と連携しながら「親子でわくわく！あそんでまなぼうさい！！in 北区」を開催した。 ・福祉教育部会：思いやり、支え合える関係づくり、地域づくりの大切さの発信・啓発を目的に「『あったか言葉』っていいね」を実施した。また、「応援します、あなたの一步」講座、及び「行ってみよう大学！あなたのための健康講座」を開催した。 	

- ・自然文化部会：北区の自然の魅力発信を目的に「北区の魅力再発見！フォトコンテスト」を実施した。令和4年度には、ビュー福島潟名誉館長の遠藤真理さんを招き、北区の自然・文化の楽しみ方について意見交換を行った。

イ 東区自治協議会 活動報告概要

(ア) コロナ禍における会議の運営

緊急事態宣言等による会議会場の利用制限などにより、全体会や各部会の休会・書面開催、会場レイアウトの変更など、これまでにない運営を余儀なくされたほか、総じて議論が低調でありましたが、発言を促すなどの工夫を凝らしながら取り組んだ。

(イ) 部会・提案事業について

第8期は、委員任期1期2年のうち、1年目は地域課題に関する調査・研究に充て、2年目を調査・研究に基づくアクションの年と位置付け、提案事業を実施した。

(ウ) 部会の取組

- ・1年目：調査・研究によって設定したテーマ
 - 第1部会：自治会・町内会の担い手不足解消
 - 第2部会：“地域で子どもを育てる”意識と地域の子どもの居場所支援
 - 第3部会：公共空間・施設の利活用
- ・2年目：テーマに基づく事業実施
 - 第1部会
 - ◆自治会活動を周知する「回覧板（バインダー）」の作成
 - ◆自治会活動の効率化に向けた「運営事例集」の作成
 - 第2部会
 - ◆こども食堂支援に関するパンフレット・ポスターの作成
 - ◆「こども食堂フェア」の開催
 - 第3部会
 - ◆「地域向けキッチンカー誘致マニュアル」の作成
 - ◆「新潟市東区・家族でお出かけ写真投稿キャンペーン」の実施

ウ 中央区自治協議会 活動報告概要

(ア) 審議・検討に重きを置いた取組（委員提案に基づく討議）

全体会が活発な議論の場となるよう、委員相互の課題認識と情報共有を目的として「委員提案に基づく討議」の時間を新たに設定し、計12件の討議事項について意見交換を行った。

(イ) 委員向け研修会の実施

令和3年度は、「新潟市自治基本条例及び新潟市区自治協議会条例について」の研修会を開催した。

令和4年度は、各部会活動の経緯や取組内容、成果等を発表する場として「部会活動報告会」を委員自ら提案し、実施した。

(ウ) 部会の取組

- ・第1部会：「にいがた2km」エリアの隠れた魅力の発信・さらなる活性化を図るため、住民参加型イベント「にいがた2kmガチャラリー」を開催した。
- ・第2部会：地域の抱える福祉分野の課題を解決する地域の支えあいづくりを目的として、提案型協働事業を実施した。「G7サミット・おもてなし美化活動」として、区民や事業者等を対象とした環境美化啓発活動を実施した。
- ・第3部会：中央区の魅力に対する認識を深め、若者や学校と連携し、魅力を発信する多様な手法を検討するため、中央区市民アンケートを実施した。
- ・第4部会：地域住民へ空き家活用事例を紹介し、空き家対策について周知・啓発するため、古民家・空き家活用事例の取材・動画作成を行い、区HPで公開した。

エ 江南区自治協議会 活動報告概要

(ア) 区自治協議会の認知度向上、さらなる活性化について

コロナ禍における新たな地域課題の解決やアフターコロナを見据えた魅力向上など、区自治協議会の重要性はますます高まっていることから、委員全員に「認知度向上」「活性化」についてのアンケートを実施した。

(イ) 部会の取組

- ・まちづくり部会：区内への来訪者増や関係交流人口の拡大に向けて、令和3年度に曾野木地区、令和4年度に横越地区のまち歩きマップを作成した。
- ・安心安全部会：防犯防災グッズの配布、助け合いの事例カレンダーの配布など、「支え合い」「助け合い」を考えるきっかけづくりを行った。
- ・環境教育部会：ゴミ拾いにスポーツのエッセンスを加え、競技へと変換させた「スポGOMI大会」、若い女性を対象にした亀田縞の普及ワークショップを開催した。
- ・江南区区ビジョンまちづくり計画策定特別部会
より区と協働して次期区ビジョンまちづくり計画の策定を進めるため、特別部会を設置し、区民インタビューや意見交換を行った。

(ウ) 地域課題解決サポートプロジェクトの実施

暮らしやすい地域の実現につなげるため、区自治協議会提案事業として支援する制度である。地域コミュニティ協議会単位で実施し、各地域で抱える課題に対して支援を行うことで、地域の課題解決やコミュニティの維持・向上が図られた。

オ 秋葉区自治協議会 活動報告概要

(ア) 全体会について

「議論と行動」を掲げ毎回活発に意見が交わされた。ワークショップによる意見集約や各地域での出張開催を年数回行った。

(イ) 委員研修会

令和3年度は次期区ビジョン及びまちづくり計画策定に向けたワークショップ、令和4年度は地域経営入門セミナーを実施した。

(ウ) 部会の取組

- ・第1部会：具体的な事業提案を公募して官民協働で行う「きらめきサポートプロジェクト」では8つの事業を採択・実施した。
- ・第2部会：モデル地区での生活交通支援、小中学生向け防災手帳の作成、防災講演会の開催に取り組んだ。
- ・第3部会：成人向けに秋葉区の魅力を体感する「Akiha おとな大学」を実施した。
- ・広報部会：コミュニティFMを活用した広報番組の制作と出演、広報紙の編集・発行に取り組んだ。
- ・幸福度調査部会：「秋葉区の暮らしやすさに関する意識調査」を行うため、特別部会として設置した。区民アンケート実施し、その成果をまとめて市長および秋葉区長へ提言した。
- ・ひな・お宝めぐり部会：区全体を対象としたイベントを実施し、区内のさまざまな団体からの参画を得て、秋葉区民の一体感を醸成した。

カ 南区自治協議会 活動報告概要

(ア) 会議運営方法の見直し

感染予防対策のため、リモート参加が可能な環境を整えた。
全体会終了後に2役と事務局で振り返りを行い、次回以降の会議に活かした。

(イ) 南区自治協議会委員研修会の開催

地域の魅力再発見、自治協議会活性化を目指し、白根商店街周辺のまち歩きを行った。女性活躍・参画の大切さを学ぶため、南区出身でテレビコメンテーターの金子恵美さんの講演会を開催した。

(ウ) 部会の取組

- ・第1部会：地域ニーズに合わせた「my 時刻表」を作成し、公共交通のPR活動を行った。
- ・第2部会：11月を「南区家族ふれ愛月間」と定め、小学生による絵画展、中学生による川柳・標語展を実施したほか、婚活事業を開催した。

- ・第3部会：区の農産物などの販売イベントとまち歩きをリンクさせた「南区味わい市場」を開催した。六斎市と同時開催することで、露店市の魅力を知ってもらうことができた。

(エ) 南区まちづくり活動サポート事業

提案事業の一部を区内の地域活動団体などから募集し、2年間で7事業ずつ地域づくり活動を支援した。

キ 西区自治協議会 活動報告概要

(ア) 本会について

次期西区区ビジョンまちづくり計画策定に関する議論、SDGsの勉強会、防災に関するワークショップや防災講演会（委員研修会）を実施した。防災講演会については、市民の防災意識向上を目的に、自治会長をはじめ約120名が参加した。

(イ) 部会の取組

- ・第1部会：環境美化意識向上につながるごみ拾いを実施していただくための「パートナー制度」、ごみ拾いSNSピリカを活用した環境美化活動を実施した。
- ・第2部会：「支え合いの大切さ」の啓発活動および行動につなげるための手法を検討した。
- ・第3部会：区の魅力発信・賑わい創出につながる提案を募集し、地域団体とともに課題解決に向けて取り組んだ。
- ・アートフェスティバル特別部会
西区アートフェスティバルは10年連続で開催した。

(ウ) 市への提言

各区自治協議会で議論した内容および総論を、市役所本課において吸い上げるかたちで、全市的な波及効果をもたらすような制度・仕組みの必要性について提言した。

ク 西蒲区自治協議会 活動報告概要

(ア) 会議運営方法の見直し

「部会・本会議の連携強化」と「西蒲区自治協議会全体の活性化」のため、「部会報告」を「議事」に取扱いを変更すること、各部会において本会議で協議したい議題を検討することの2点を実施した。

(イ) 委員研修の実施

「地域おこし協力隊」をテーマとした研修を開催し、「よそ」から地域活動に取り組む人の視点を学び、委員としてのスキルアップにつなげることができた。

(ウ) 部会の取組

- ・総務部会：1年目は防災（新型コロナウイルスの影響により中止）、2年目はスポーツをテーマとした交流会を開催した。

- ・保健福祉部会：1年目は福祉相談窓口が記載された冊子を発行、2年目は認知症予防の講演会を開催した。
- ・まちづくり・産業部会：「西蒲区の魅力発信」「西蒲区の一体感醸成」を目的に、ドローンを活用した「西蒲区の魅力発信動画」を制作・発信した。

ケ 市長からの感想・意見等

- ・第8期各区自治協議会の2年間の活動報告を受けて、市長が感想・意見等を述べた。

(以下、発言内容)
- ・第8期の2年間は感染症対策の影響により、会議や活動が制限されながらも、精力的かつ活発なご尽力にお礼を申し上げます。
- ・8区それぞれ地域の事情が異なり多様性があるなかで、地域課題と向き合い、魅力の発信に取り組んでこられたことに、大きな成果・発展を感じた。
- ・一方、人口減少や高齢化による地域の担い手不足といった課題に対しては、各区自治協議会の皆さまと連携しながら、担い手づくりに取り組んでいかなければならないことも改めて実感した。
- ・また、来年度予算編成においては、区の権限・財源を大幅に強化するとともに予算編成プロセスの転換を図り、これまで以上に区民の皆さまの要望を踏まえた提案を積極的に予算化していきたい。
- ・8期の充実した成果を第9期の活動へ引継ぎ、「協働の要」として地域の課題解決に取り組みながら活動を活性化していくために、引き続き、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。

(2) その他

第8期振り返り資料完成に向けた今後の流れと令和5年度の新任委員研修の予定について、事務局から情報提供を行いました。

ア 第8期振り返り資料完成に向けた今後の流れについて

- ・本会議で使用した資料は暫定版であり、令和4年度の各区自治協議会提案事業評価書と、区自治協議会のさらなる充実に向け、各区の部会単位で実施した意見交換概要の2点を加えて完成とする。
- ・2点の追加部分は、現在各区で作成しており3月末日までに市民協働課に提出することになっているため、完成版は4月上旬に、8期会長へ送付するとともに、4月開催の各区自治協議会で第9期委員に配布する。

イ 令和5年度の新任委員研修の予定について

- ・今年度実施した全委員へのアンケート結果や会長会議において、委員研修に関する項目への課題意識が高いことが分かったほか、特に初任者研修に重点を置くべきとの意見をいただいたことから、来年度については実施方法を見直すこととする。

- 時期は、4月の第2週から第3週で調整している。全区の新任委員が集まり60分から90分程度の時間をかけ、自治協議会条例、市の総合計画、令和5年度予算の内容を説明し、委員として期待される役割や市の取組の大きな方向性などをふまえた内容を検討する。

※現在、時期や会場等は調整中のため、詳細は未確定。

- 各区委員就任の目途が立ち次第、速やかに開催案内をすることとした。

4 閉会

会議資料

次 第

資料1：区自治協議会（第8期）を振り返って（暫定版）